

【三崎】海洋土木工事から、三浦漁業の説明への施工会社・鈴木組はこ受け、そのあと三崎漁港のほど、三浦市立三崎小に移動し、三浦海業公社学校（大和信一校長）の水中観光船である、に3年生37人を対象に三崎じいろさかなごうに乗漁港の土木工事、三浦の船。

漁業、栽培漁業について 同港・北条湾での係船

鈴木組が体験学習

■三崎小3年生児童対象に

地域貢献事業の一環で

の学習、サザエ工種苗20 岸壁工事について、鈴木00個の放流などの体験組の担当者から「40年前学習を実施した。漁港建に造った岸壁を造り直し設工事にかかる地域へしている。3月末には完成」貢献事業として行ったも などと説明を受けながら見学した。

児童たちはまず、JF 引き続き同船は、三崎みうら漁協の藤村尚参事 漁港・宮川湾のサザエ工種



サザエ工種苗をまく児童たち

サザエ工種苗は同協会が昨年7・8月に産卵したものを育ててきたことなどの説明を受けた。

放流現場に到着した児童は、同協会の職員に小バケツに入れてもらったサザエ

苗放流現場に移動。途中、稚貝を海に放流した。ま
神奈川県栽培漁業協会のた、水中観光船の窓から
今井利為専務から、種苗 サザエ工稚貝が海藻の中に
生産事業や栽培漁業と養落ちていく様子を観察し
殖漁業の違い、放流するた。